ビースピーク VOL. β3

「瞬間をデザイン」するエンタメマガジン

BEeSPEAK

佐藤奈史
『波紋のブーケ』特集

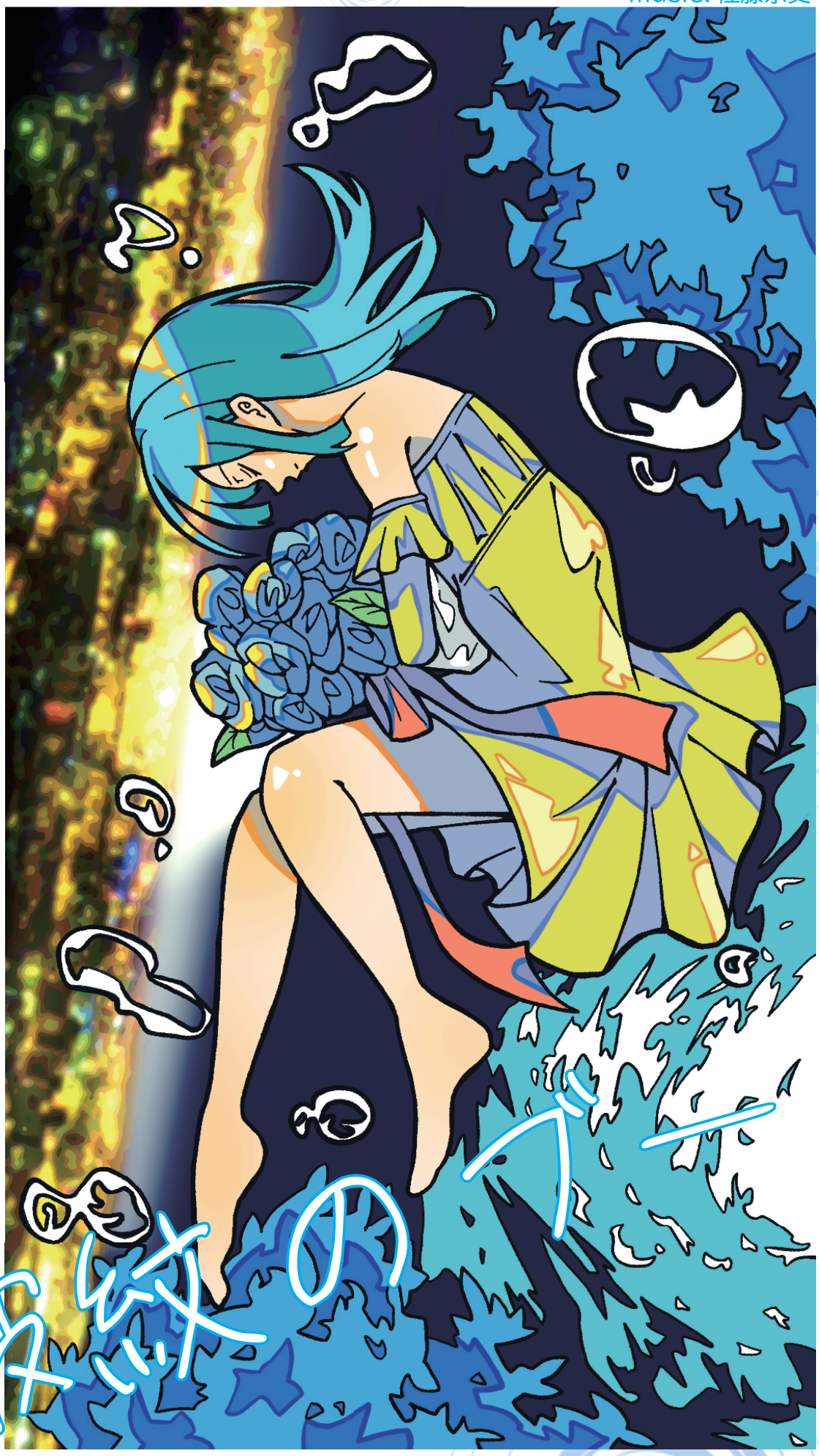
第2回 chunky cookie
イラストコンテスト作品紹介

新作ブレンド「またあした」

Project HONEY−CALM

music: 佐藤奈史

illustration: ホシノ



波紋のゲート

――言葉ありきで音を作っているので、ジャンルにとらわれず色々な曲を作っていきたいです。

本誌の企画編集を手掛ける佐藤奈史が音楽活動を開始した。その経緯と初投稿曲「波紋のブーケ」について話を聞いていこう。

Iなぜ音楽活動を始めたのですか。

もともと音楽が好きで、作曲はやっていたんです。chunky cookieやBEeSPEAKを通してクリエイターさんと関わっていくなかで、僕自身もクリエイターとして何かやりたいと思った時に音楽一択でした。

Iそして生まれた初投稿曲の「波紋のブーケ」。制作エピソードを聞かせてください。

一曲目は「私こんな曲を作りますよ」って伝える曲にするのが普通だと思うんですけど、まったくそういうことを考えていなくて。「波紋のブーケ」という曲名が最初に決まって、そのイメージで音を作っていきました。

I曲もそうですが、歌詞も幻想的な世界観ですね。

歌詞を書くのは好きなんです。極端なことを言うと歌詞を書きたいから曲を作っています。日本語の繊細な比喩表現が好きで、昔からそういう小説や歌詞を読んで影響を受けていますね。最近は読んだままの、分かりやすくて強い言葉が求められていて、行間を読むということに煩わしさを感じる傾向があります。そういう時代なので仕方のないことだとは思いますが、和歌のように決められた文字数の中に様々な意味や情景、感情を込め、受け取る側もそれを読み取ることに趣を感じる。そういう奥ゆかしさが楽しめなくなるのはさみしいなと思って、自分なりに歌詞を書いています。あと、音楽的なことで言えばアルペジオが大好きなので散りばめました（笑）

I歌詞ありきの作曲ということですね。そしてその世界観をイラストに落とし込んだのがまくらさん。

すごくないですか？（笑） 歌詞については自分の中ではっきりとしたイメージはありますが、基本的に見た人が思い思いの情景を浮かべていただければと思っていて、まくらさんは僕のイメージ以上の情景を描いてくださりました。

Iもともとまくらさんにお願いしていたのですか？

そうと言っても過言ではないです（笑） 曲を作ろうと思った時からMVイラストはまくらさんにお願いしようと決めていました。断られるという可能性については全く考えずに（笑） 他のイラストも観ていただければわかると思うんですけど、CDジャケットやMVイラストとして成り立つデザイン性やインパクトがありながらも、一枚絵としてのディティールと人物の自然な可愛らしさも持ち合わせているんです。音楽活動にあたってはまくらさん一択でした。今後間違いなく注目されるイラストレーターさんです。

I最後に、今後の抱負をお願いします。

言葉ありきで曲を作っているので、ジャンルにとらわれずに色々作っていきたいです。いずれボーカルを採用した楽曲制作や、アルバム作りをしたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします！

「波紋のブーケ」MVイラストを手掛けたまくらさんにも制作秘話をうかがっております！

●プロフィール

まくらと申します。現在大学に通いながらイラストレーターとしても活動しております。ポップな女の子をテーマとしたイラストを得意としております。

●MVイラスト制作秘話

「波紋のブーケ」を聞いてまず真っ先に思い描いたのは水面の描写でした。水面は二つの世界の境目のようなイメージがあって、共存しない2つの世界を主軸に制作しようと思いました。

全体の構成を考える時、光る街と水中から見える水面……まではよかったのですが、少女と花束の魅せ方をどうしようか少し悩みました。そんな中、曲自体幻想的なことや、歌詞の解釈を再度、自分なりにしてみると、少女はなにか瞬間的な美しさを持った存在なんじゃないかと感じました。そして、花束を大事に抱えてる姿を描いてみると、とても納得のいく構図に仕上がりました。

また、1番こだわったのは色です。光を扱うイラストだったので、眩しすぎず暗すぎない色合いを探すのが苦労しました。私が彩度の高いイラストが好きだったのもあり、存在感のある絵に仕上がったんじゃないかなと思います。

●最後に一言

イラストレーターとして始動したのがつい最近なのでまだ駆け出しなのですが、これからも自分のイラストを突き詰めていきたいと思います。またどこかでイラストを見ていただく機会があれば、応援よろしくお願いします。

まくら

佐藤奈史

第二回 chunky cookie イラストコンテスト結果発表

第二回を無事終えることができた chunky cookie イラストコンテスト。第一回を大幅に上回る応募があり、運営一同喜びを隠しきれないのと同時に、非常に難しく悩ましい選考で議論が白熱しました。皆様本当にありがとうございました。本誌では大賞受賞者の紹介および特集と、金賞受賞者の紹介をさせていただきます。第三回も皆さんに楽しんでいただけるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

大賞

第二回大賞受賞者『緑豆子』様

自分だけの甘美な世界に溶け込んでいくかのようなイラストは、非常に幻想的で魅入ってしまいます。シックな色使いには、ベリーらしさもコーヒーらしさも感じる事ができ、ここまで夢見心地でファンシーな「うたたねドルチェ」を見る事が出来るとは思ってもいませんでした。イラスト全体のデザインも素敵で、このイラストがコーヒーのパッケージになる姿を見てみたいと感じさせられました。

Ｉまずは自己紹介をお願いします。

緑豆子と申します。

京都精華大学デザイン学部卒業

会社勤めの息抜きで、趣味でイラストを描いたりGIFアニメーションなどを作っております。

主に2次創作などを中心に活動しておりましたが、最近はオリジナルのイラストなども少し描いてみたり自分のイラストの持ち味とは何かを日々研究中です。

Ｉ制作時のエピソードを聞かせていただけますか？

応募要項を Twitter で見つけ、描いてみたいなと思っていた雰囲気とテーマが一致した事もあり、応募を決めて、イメージを練りました。

やろう！と決めてから描き始めるまでが遅いタイプなので、実際に描き始めたのが締切前日の夜中からで、徹夜で描いて仕事出勤直前に仕上がりました。

空が明るくなってきて窓から光が差してきたのを見た辺りから色塗りのスピードが自分でもびっくりする位早くなったのを覚えてます（笑）

Ｉイラストの配色や登場するモチーフも非常に素敵ですが、全体のデザインとしてのまとまりが綺麗です。イラストを制作するに当たって一番意識した事を教えて下さい。

チョコとベリーの海に溶けてしまいたい。そんな夢を見る女の子を描きたくて、まずは女の子から描いていきました、単純に何フレーバーなのかを明確に描きたかったのもありベリーやフォンダンショコラはデフォルメし過ぎないようにして描き入れました。

あくまでも、パッケージのラベルとして使われる事を前提とし、パッと見でどんな味かイメージ出来るよう色味でもそれが伝わるように何度も配色を調整して今の色に落ち着きました。

ー素敵なイラスト、ありがとうございました。最後にイベントの感想等お願いします。

普段は二次創作絵などを描くことが多く、オリジナルで絵を描く機会も増やせたらなと思っていたタイミングでこのコンテストを見つけて試しにという気持ちで応募したのですが。

いざ自分が描いた作品が『商品の顔』になるかもしれないと思うとモチベーションもとても上がりましたし、手にとった人が嬉しくなる様に、思わず手にとってみたくなる様に『魅せる』にはどうしたら良いかを考えながら作品を作るのは自分にとっても良い勉強になりました。

素敵な機会を作って頂いた運営様に感謝すると共に、実際に今回のコーヒーを楽しまれる方には、目でもフレーバーのイメージを感じで頂けたら幸いです！

緑豆子さん Twitter

イラコン 特設ページ

金賞

第二回金賞受賞者『さなはち』様

柔らかい印象でキャラクター性よりも抽象的なデザイン性に富んでいる作風に心惹かれました。ファンシーで親しみやすい雰囲気があり、非常に可愛らしいイラストです。選考チーム内では女性陣から圧倒的な人気があり、chunky cookie としても新しい方向性を指し示してくれる作品に感謝しております。

金賞

第二回金賞受賞者『すとっぱ』様

「うたたねドルチェ」というテーマからオリエンタルな雰囲気の男性キャラクターが登場するとは思わず、非常に印象的。あまりに美しいイラストに言葉を失いました。ふわりとしたゆりかごの様な羊と柔らかい日差し。少年の抱える果実は様々な物語を連想させてくれます。おそらく全審査員が一番衝撃を受けた応募作品だったのではないかと思います。

たくさんの応募ありがとうございました！！

Blend「またあした」

Illustrator「アマネ」

香り、コク、甘味のバランスが良い『またあした』は、4つ目の定番ブレンドでありながらchunky cookieのこれまでの3種類とは趣を異にしている。日常をテーマにした本ブレンドの制作秘話を聞いていこう。

I『またあした』という名前からもうかがえますが、これまでの3つのブレンドとは少し違いますね。

その通りですね。ようやくこういったブレンドを出せるようになったというのが正直なところです。『レミニア』『ミス・カレイド』『木漏り唄』は前回のBEeSPEAKでもお話しした通り「これがchunky cookie」ですと明確に示すことができるラインナップになったと思っています。

バリスタとしての挑戦的なコンセプトのブレンドとそれを象徴するイラストとの組み合わせにより世界観を徹底的に追求しました。これはバリスタ×クリエイターというテーマがあって、ただ商品に利用するイラストを描いてもらうだけではなく、味やブレンド名を含めて一体的で必然性のあるものを作っていくショップであることを伝えたかったからです。世界観に負けないために味ありきで豆を選定したこともあり、コアなコーヒー好きでもご褒美として買うようなランクの豆をメインで使ったブレンドになりました。

結果として価格としては優しくないラインナップになっているのは申し訳ないなと思いつつも、最初の3種類は作りたいもの、自信を持てるものを素直に作ろうの精神でした。結果として興味を持ってくださって、応援してくださる方が増えてきて。ついにはパッケージやショップのコンセプトに惹かれたので是非とファッション誌への広告掲載のお話をいただくまでになり、イラストコンテストでも多くのクリエイターさんから反応をいただけてたことから、chunky cookieがやりたいことがなんとなく皆さんに伝わってきたのかなという自信につながりました。

前置きが長くなりましたが、そういった経緯があって次の定番ブレンドをどうしようかと思った時に自然に話がまとまったのが『またあした』です。これまでこだわりにこだわってブレンドを作ってきましたが、ある意味で僕たちのわがままでもあると自覚していたので、とにかく気軽に長くchunky cookieを楽しんでいただけるようなブレンドを作ろうと。ブレンド名を造語でなくシンプルな単語にしたのもそのためです。

I『木漏り唄』制作時に採用しなかった、いわゆるハウスブレンドの位置づけということですね。基本的にどのショップにも最初から置かれているような日常買い向けのブレンドが満を持して出てくるのはchunky cookieらしいですね（笑）

ありがとうございます（笑）やっと肩の力が抜けたというか、『木漏り唄』までは商品はもちろんブログやツイートなどのchunky cookieの見え方を神経質にもほどがあるくらいにシミュレーション、計算して積み上げていくような綱渡りみたいなことをしてきたのですが、今なら何をやってもいいのかなと皆さんのおかげで思えるようになりました。

I『またあした』というブレンド名にした理由を教えていただけますか。

話し出すときりがなくなるくらい思い入れのあるブレンド名なのですが、日常的に飲めるというコンセプトをシンプルに分かりやすく伝わる言葉でありながら、chunky cookieらしさも見え隠れするように少しひねりのある言葉としてできたものです。日常的に毎日飲みたくなるという

ことは、「また明日」も飲みたくなるということで、飲んだら「また明日」も頑張れるようになったらいいなという願いも込めました。

Ｉシンプルにという気持ちが随所から伝わってきます。イラストもそういった方向性ですか。

そうですね。イラストをお願いしたアマネさんはプライベートで交流のある方で、これまでのchunky cookieについても知ってくれているし、今回のブレンドに込めた願いについても理解して制作に臨んでくれました。タッチがとにかく優しくて親しみやすく、見る人を選ばない包容力がありますよね。chunky cookieの口癖である「ノスタルジー」を軸に、日常の中で一日の終わりに明日の幸せを願う。そんな情景をシンプルながら奥行きのある色使いで描いていただきました。流行にとらわれない長く愛されるパッケージになったと思います。「またあした」と言えない世の中なのが悔やまれますが、どれだけ先になってもいいのでブレンド完成祝いの乾杯をしましょうね！（笑）

Ｉ（笑）では、恒例の淹れ方についてコメントいただいてもいいですか。

沸騰したお湯を一分くらい冷まして、まず粉全体にお湯がいきわたる程度注いでください。当店は注文いただいてから焙煎しているので、届いてからよほど時間がたってない限りはもこもこと膨らんでくれるはずです。ふくらみが落ち着くまで蒸らしたら、もこもこを崩さないようにゆっくり数回に分けて注いでください。目的の量になったらお湯が落ち切る前にドリッパーを外していただければ完成です。おそらくインターネットでコーヒーのドリップ方法を調べるとこれに近い淹れ方が多くヒットすると思います。そんな一般的な淹れ方でお楽しみいただけるように設計しているので、ぜひ毎日気軽に飲んでいただけたら嬉しいです。

Ｉ最後に、今後のchunky cookieについて抱負をお願いします。

好きなアーティストのグッズはデザインがかっこいいだけじゃなくて、どうせなら素材もいいものだったらいいな。なんて思いがchunky cookieの商品設計の土台になっています。これからコーヒーだけでなくコーヒーのある生活にも目を向けながら「おうちカフェをご褒美に」を目指していきたいと思います。現在進行形で大きな話から小さいあれこれまでまだまだ盛りだくさん準備しているので、楽しみにしていてください！

～編集後記～

今回のBEeSPEAKはノリノリで自演記事を書かせていただき、大変満足しています。いずれ自分の曲を自分で取材（自炊）するのではなく、実際にクリエイターさんなどに取材して記事を作っていきたいと思っていますので、目標を達成するまでは茶番にお付き合いいただければ幸いです。ただ、音楽活動を始められたのは小さな前進ですし、そのMVイラストをまくらさんという推しイラストレーターさんに担当いただけたのは、文章からは絶対伝わらない自信がありますが心がぴょんぴょんするような状態でした。これからもどんどん作曲していきたいと思うので、よろしくお願いいたします。

うたた寝に　恋しき人を見てしより　夢てふものはたのみそめてき

「うたた寝をして恋しい人を見てからというもの、夢を頼りにするようになってしまった」古今和歌集にある小野小町の和歌は、「うたたねドルチェ」の裏のテーマになります。アナログらしい和服の女の子がとても素敵で、ちぐはぐな世界観の表現や構図も魅力的な夕月さんは、この裏テーマの表紙をお願いするにあたって他にないという思いでお願いさせていただきました。純粋にファンとして完成を楽しみにしており、仕上がりをみて早く表紙として印刷したいと編集に没頭しました。素敵なイラスト本当にありがとうございました。

佐藤奈史

illust：夕月

- うたたねドルチェ -

ゆらゆらと、こくこくと

甘い夢と甘くないワタシ
浮かんでは消える
恋のまじないアラカルト

ふわふわと、うとうとと

アナタの前ではしがない子猫
名前を聞くのは野暮ではなくて？

あっちこっちで目覚めたショコラ
仕方がないからあえて呟く

「こんな夢を見た」

佐藤奈史

「バリスタ」×「クリエイター」が
テーマのコーヒーショップ

chunky cookie

期間限定ブレンド
「うたたねドルチェ」
好評発売中！！

chunky cookie
chunkycookie.theshop.jp

BE SPEAK

※本誌の内容及び写真・画像等の複製、無断転載を禁じます。

編集：佐藤 奈史
発刊：2021 年 秋
Not for sale